

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ななつまつトレイン		
○保護者評価実施期間	2026年1月27日		～ 2026年2月3日
○保護者評価有効回答数	5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2026年2月6日		～ 2026年2月6日
○従業者評価有効回答数	8	(回答者数)	7
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月4日		～ 2026年2月4日
○訪問先施設評価有効回答数	9	(回答数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日		

○

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設との連携・助言の質	訪問先施設評価では、助言の分かりやすさ、質問への適切な回答、支援への満足度で高い評価を得ている。現場の困り感に即した具体的な助言を心掛けている。	訪問時の助言内容を記録・共有し、担任や施設が継続して活用できる形に整理する。
2	保護者との丁寧な説明と共有	保護者評価では、支援計画の説明、共通理解、情報共有、満足度の各項目で高い評価を得ている。面談や日々のやり取りを通して丁寧な説明を行っている。	支援のねらい・内容・変化をより見えやすく伝え、保護者の安心感をさらに高める。
3	支援計画に基づく実践と記録	職員評価では、支援計画の作成・共有、支援前後の打合せ、記録の徹底について概ね実施できているとの回答が多かった。	計画・実施・振り返りの流れを書式や会議でさらに標準化し、誰が見ても分かる支援体制を強化する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者評価や外部検証の機会	職員評価では『第三者による外部評価』の実施が十分でないとの回答が比較的多くみられた。	外部の視点を取り入れる機会や自己点検の仕組みを検討し、業務改善につなげる。
2	家族支援・情報発信の見	保護者評価では、家族支援プログラムや情報発信に『わからない』との回答が一部みられた。	実施している支援や相談機会を文書・口頭で明確に周知し、必要に応じて家族向け情報提供を充実させる。
3	関係機関との連携の広がり	職員評価では、就園・就学時の移行支援や地域会議等との連携について、十分でないとの声がみられた。	学校・関係機関との情報共有の目的と方法を整理し、参加状況や連携結果を職員間でも共有する。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ななつまつトレイン		公表日		2026年3月23日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・改善が必要と思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する教員教材は適切であるか。	○		必要な教材を準備し、支援内容に応じて使い分けている。	教材の保管場所や内容を職員間で共有しやすくする必要がある。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用状況に応じて職員が連携し、必要な支援体制を確保している。	利用希望者数や支援内容の変化に応じて、配置の見直しを継続する。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		支援後の振り返りや会議を通して、改善点を確認している。	振り返り内容を全職員に共有する仕組みをさらに整える必要がある。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。		
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		週1回の研修等で子どもの姿や支援について話し合っている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	複数の視点から子どもの様子を把握し、支援に生かしている。	アセスメント方法の共通理解を深め、記録の統一を進める必要がある。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内研修と事業所内研修、外部研修を組み合わせ資質向上を図っている。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		訪問先施設の方針や日課を尊重しながら支援を行っている。	訪問先の理念や支援方法の共有をより丁寧に行う必要がある。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			アセスメント方法の共通理解を深める必要がある。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。		
	14	保育所等訪問支援計画が、職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		必要に応じて関係会議に参加し、支援内容を共有している。	会議への参画状況を職員間でも見えやすくする必要がある。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		保育・教育・福祉の関係機関と連携しながら支援を進めている。	連携先や連携内容を整理し、継続的に共有する必要がある。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		移行時には必要に応じて支援内容の引継ぎを行っている。	就園・就学時の情報共有の手順をさらに明確にする必要がある。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			訪問先の理念や支援方法の共有をさらに丁寧に行う必要がある。	
関係機関や保護者との連携	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		必要に応じて地域とのつながりを意識している。	地域会議等への参加機会や役割の整理が今後の課題である。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じて家族への助言や情報提供を行っている。	家族支援プログラムや研修機会の周知をさらに工夫する必要がある。	
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			地域関係機関との連携内容を見えやすくする必要がある。	
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			学校との連携は今後の課題である。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。		○	計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	地域会議等への参加状況や役割を整理する必要がある。	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		モニタリングや必要時の面談で相談支援を行っている。	定期相談の機会や案内方法をさらに整理する必要がある。	
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	個別相談を中心に家族支援を行っている。	保護者同士やきょうだい同士の交流機会は十分とはいえず、今後の検討課題である。		
27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。			
28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。			

保護者等への説明等	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		状況に応じて伝え方や説明方法を工夫している。	意思疎通や情報伝達の配慮方法を職員間でより共有する必要がある。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリングや必要時の面談で相談支援を行っている。	モニタリング以外の定期相談・面談の機会をさらに整理したい。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		カンファレンスの実施方法や記録の統一を進める必要がある。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			意思疎通や情報伝達の配慮方法を職員間でより共有する必要がある。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		ヒヤリハットを共有し、再発防止策を検討している。	共有の継続と、具体的な再発防止策の徹底が必要である。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		身体拘束に関する基本的な考え方を職員間で共有している。	説明方法や記載ルールについて共通理解を継続する必要がある。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	ヒヤリハットの共有と再発防止策の検討を継続する必要がある。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		計画や記録に基づき、関係者と連携しながら支援を実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			身体拘束に関する説明・記載ルールの共通理解を継続する必要がある。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ななつまつトレイン

公表日 2026年3月23日

利用児童数 5

回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	0	0	1		訪問時に使用する教材や支援のねらいについて、保護者にも分かりやすく共有します。
	2 ブライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4	1	0	0		支援の頻度や時間の決定理由について、今後もう丁寧に説明します。
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	5	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	5	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	0	0	2		家族支援や情報提供の機会について、必要に応じて案内を行い、分かりやすく周知します。
	15 必要な時にこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	5	0	0	0		
	16 定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	1		相談しやすい体制や対応の流れについて、継続して周知します。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1		訪問先施設との連携内容について、保護者にも伝わりやすい形で共有します。
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5	0	0	0		
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5	0	0	0			
非常時等の対応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	0		
	24 個人情報の取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0		
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5	0	0	0		
満足度	26 事業所より、こどもの安全を理解するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5	0	0	0		
	28 事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2026年3月23日	
ななつまつトレイン		公表日 利用施設 数：9			回収数：7	
チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	0	0	・声掛けや関わり方など、その子どもに合ったものを教えていただける為分かりやすい。 ・効果的な声掛けの方法を教えていただけるのでありがたいです。	・今後も、訪問先でそのまま活用しやすい具体的な助言を心掛けます。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6	1	0	・私だけでは分からない部分が多々ありますが、その都度教えていただける為。 ・私だけでは対応が難しいと感じていた時にフォローをしてくださったり、教えてくださったりなど私自身も勉強になりました。	・対象児への関わり方や支援方法について、その都度助言や提案を行い、先生方と一緒に対応を考えています。一方で、「どちらともいえない」という意見もあるため、今後は支援の意図や助言内容がより分かりやすく伝わるよう、訪問後のフィードバックや情報共有の方法を工夫していきます。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	7	0	0	・分からないことがあれば、その子に応じた対応や、声掛けを教えていただける。 ・対象児以外にも、クラスで気になる子どもも気にしていただき、相談に乗っていただいております。ありがとうございます。	・質問しやすい関係づくりを継続し、その場での助言と後日のフォローの両方を大切にします。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	1	0	・その子どもがどうしたら過ごしやすくなるのか日々考えていましたが、一緒に考えくださったり、提案してくださったりした為。 ・手が出てしまったりする事は解消が難しかった。	・子どもが園生活の中で安心して過ごせるよう、先生方と一緒に支援方法を考え、必要に応じて関わり方や環境調整について提案を行っています。一方で、手が出てしまう行動など、短期間での改善が難しい課題もあるため、今後も行動の背景を丁寧に捉え、園と連携しながら継続的な支援につなげていきたいです。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	6	1	0	・関わり方や声掛けについての不安が大きかったが、相談できたり、教えていただけたりする為、満足している。 ・いつもありがとうございます。	・訪問先の先生方の経験やニーズによって、求められる支援内容やフィードバックの方法は異なるため、今後は意向を確認しながら、必要な情報を分かりやすく共有できるよう工夫していきます。	
その他のご意見						